



第2学年〇組 英語科学習指導案

場所 2 年 〇 組
 日時 平成20年11月17日(月曜日)
 校時 第4校時(11:50-12:40)
 授業者 教諭 松本 光正

1 単元名 Unit5 A Park or a Parking Area?

2 単元について

題材としては、駐輪場建設を巡る話題を取り上げている。この種の話は、都市部では大変身近な「社会問題」である。また、「公園か、駐輪場か」のようなディレンマは、多くの今日的課題に共通する困難点である。同じように、身の回りに存在する社会問題等の諸問題について、賛否の論点を整理し、解決法を模索する態度をディスカッションやディベートの手法を用いて養っていききたい。

2年A組は元気があり活発なクラスだが、表現力や積極性に欠け、「書くこと」を苦手とする生徒が多数いるという実態がある。したがって、本単元を通して、自分の意見や感想を「書くこと」によって表現力をつけさせていきたい。また、身近な社会問題についても、英文で問題提起できる生徒の関心意欲を喚起していきたい。

学校研究課題「積極的な生徒指導を通じた心豊かな生徒の育成」を受け、授業改善部会では「形成的評価」を通して授業における「規律ある態度」や「心豊かな生徒の育成」について実践研究している。本単元においても、「形成的評価」を取り入れ、生徒の達成感や成就感、伸長感を引き出せるように努力していきたい。

3 指導計画と評価計画(本時第5時)

(L=listening, S=speaking, R=reading)

時	達成目標	観点別評価・中心技能	評価規準・基準
1	if節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	① 本文(ファックス)の内容理解 [理解] L ② 基本文 [理解・表現] LSW ③ 本文の音読 [表現] R ④ Listen [理解] L ⑤ Speak [表現] S	・ If の使い方が理解できたか(ワーク8割以上A) ・ 本文の内容が理解できるか(QAに答えられるA、支援で理解できるB)
2	that節(目的)を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。	① 本文(対話)の内容理解 [理解] L ② 基本文 [理解・表現] LSW ③ 本文の音読・ロールプレイ [表現] RS ④ Your Turn [表現] S ● 特に④への取り組み [意欲] S	・ that を使って自分の考えや感想が述べられるか(think以外の動詞で応用が効くA) ・ 対話の内容が理解でき、暗唱できるか(暗唱できるA、支援で理解できるB)
3	①新聞記事を読んで、内容を理解し、また、それを参考にして、5WHの明確な、簡単な記事を書くことができる。②when節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	① 本文(記事)の内容理解(Q&A) [理解] L ② 基本文 [理解・表現] LSW ③ 本文の音読 [表現] R	・ when の使い方が理解できたか(ワーク8割以上A) ・ 本文の内容が理解できるか(QAに答えられるA、支援で理解できるB)
4	①自分の意見を考える態度を養う。投書の意見を読んで、内容を理解し、また、それを参考にして、簡単に自分の意見を述べることができる。②because節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	① 本文(投書)の内容理解(Q&A) [理解] L ② 基本文 [理解・表現] LSW ③ 本文の音読 [表現] R ④ OPINIONへ自分の意見を書く [表現] SW ● 特に④への取り組み [意欲] SW	・ because の使い方が理解できたか(ワーク8割以上A) ・ 本文の内容が理解できるか(QAに答えられるA、支援で理解できるB) ・ 自分の意見が書ける(意見を書いて発表できるA、意見が書けるB)
5 本時	① OPINIONを読み、自分の意見を様々な表現で書くことができる。②自分の身近な問題について話題にし、それについて意見を述べることができる。	① 本文の音読 [表現] R ② OPINIONへ自分の意見を書く [表現] RW ③ 身近な問題について即興で意見や感想が述べられる [表現・意欲] RW	・ 友達の意見に自分の意見、感想を書いたり付け加えたりできるか(表現力豊かに書けるA、定型の表現に留まるB) ・ 身近な話題についてニュースの形で問題提起ができるか(問題提起でき、他の意見に即興で対応できるA)

4 本時の指導目標

ディスカッションするという場面で、即興的に、自分の意見や感想を掲示板に書くことができるようになる。

(1) 下位目標1 ・意見や感想を述べる表現を使って自分の意見が書けること

(2) 下位目標2 ・友達の見解に自分の意見、感想を書いたり付け加えたりできること

5 本時の学習展開

	学習事項	学習活動	指導・援助と評価の創意工夫	備考・教具
復習及び 発展 15分	①進出英語や意見や感想を述べる表現集の確認。 ②音読練習 ③教科書 OPINION の内容理解。	①本時で使用する単語や重要語句を確認する。自分の PC で Flash Card を使用しながら単語等は確認する。 ②PC のデジタル教科書を使って発音練習する。 ③重要表現や教科書の内容についての小テストを行う。	本時のめあてを口頭で生徒に認識させる ①Flash Card を活用し積極的に練習する。 ②全体で音読練習後、個人的に音読練習する。 評価場面 1 <具体的評価規準> ・積極的な態度で本文理解に努めたか。言語活動に参加していない場合、個別に支援していく (関心意欲態度) ・小テストで80%以上=A、50%=B (知識・理解) <評価方法> ・練習の場面→観察法 (知識・理解 C、学力の低い生徒中心に練習活動への参加を促す) ・小テストの場面→観察、分析法 (採点し、返却プリントのコメントで個別に学習の指針を示す) <手立て> ・必要に応じてヒントを与え、個別指導の充実化を図る	①デジタル教科書 ②Flash Card ③スターボード ④教材配布、回収装置 (ワード、パワーポイントファイル) ⑤Sky ランチャー
導入 15分	①教科書 OPINION を真似て意見を書く。 ②友達の見解を参考にしながら自分の考えをまとめ、掲示板に英文を書く。	①Are you for a New Parking Area for Bikes or against the plan? 教科書のテーマについて自分の意見を述べる ②教科書本文を創作し、自然な発話になるように英文を完成させる。	①～②教科書や友達の見解を参考にして自分の意見を書く練習ができるように支援する。(理解、表現、W) 評価場面 2 <具体的評価規準> ・積極的な態度で教科書の OPINION を考えようとしたか。(関心意欲態度) ・自分の意見が書けた、正しい英文2文以上=A、1文～2文=B (知識・理解・表現) <評価方法> ・観察法 (知識・理解 C 学力の低い生徒中心に Writing 活動への参加を促し、書き込みを完了できるように促す) <手立て> ・モニターしながらその場でヒントを与える。	①Cube Next2 掲示板「教科書編」 ②辞書
展開 20分	①ディスカッションの発展を行う。 ②他のクラスや友達への提示する「身近な問題点」についてコメントや意見を書く。 ③意見に対する意見を書き込む。 ④良く書けている意見や長く続いているテーマのスレッドを紹介する。	①身の回りの問題点として提示されているテーマに正対し、正しく意見や感想を書く。 ②自分の立場 (賛成か反対か) を明確にし、その理由がしっかりと述べられるように書く。 ③即興で英文を作る。 ④ディスカッションを評価する。	①生徒を知識・理解度別にグループに分けて考え、知識・理解 A の生徒グループには「身近な問題編」を、その他の生徒には進捗に合わせて支援を行う。 ②随時モニターしながら次へのステップを支援する。 ③意見はその人にするのではなくその意見や感想自体に行うというマナーとルールを守らせる。 評価場面 2 <具体的評価規準> ・積極的な態度で身近な問題点の解決策について感想や意見を考えようとしたか。(関心意欲態度) ・自分の意見が書けた、正しい英文2文以上=A、1文～2文=B (知識・理解・表現) <評価方法> ・観察法、分析法 (できるだけ解決策を多く立てさせるように促す。) <手立て> ・モニターしながらその場でヒントを与える。	①Cube Next2 掲示板「身近な問題編」 ②辞書 ②ワークシート
まとめ	・確認と予告、連絡	宿題等をメモする		ノート

6 備考 (男子 16 名、女子 14 名)

【英語科分科会】(司会：松本 記録：松本 指導者：米〇先生)

<授業者反省> 2〇英語

松本光：・2〇の授業だが、全体的に落ち着かずざわついた。少し指導を入れるべきだった。

- ・結局、当初の予定の半分強しかできなかった。
- ・誠にふがいない授業で恐縮している。

<指導・助言>

- ・最先端な授業で感銘した。
- ・単語テストをペーパーでやるのと今日のようにワープロで書き込んで回収することの差異はあるのか疑問。

<授業者反省> 1〇英語

鈴木●：・1〇の授業では、**which** の導入で色々な方策を使って生徒は喜んで学ぼうとしていた。

- ・スキットの暗記も予想外に生徒は意欲的に行っていた。

<指導・助言>

- ・“**which**”ってどんな意味だろう戸発問したときに、初めて子どもでも予測できる内容だったので大変良かった。
- ・全体指導の **flash** など、個に戻すことによって、緊張感を持たせた方がよい。
- ・音読の工夫をしてからスキット作成をしていくようにした方がよい。
- ・助け合い学習が大変よくできている。
- ・JTE が支援に入り、ALT が評価するというパターンが良いか。